

ごあいさつ



理事長
山本 新彦

平素より九州労働金庫の事業運営に対しましてご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2022年度は、新型コロナウイルスの感染の波が訪れるごとに感染者数が増加していきました。また、ロシアによるウクライナ侵攻も止むことはなく、食料・資源の不足、物価上昇に伴い、家計への影響も大きな年となりました。

そのような中、第7期中期経営計画（2021～2023年度）の2年目として、第6期からのスローガン＝『～つながる！ろうきん～「はたらく人」とつながる！「地域社会」とつながる！「未来」へつながる！』を継承し、「ろうきんらしいビジネスモデルの展開」と、「安定的な経営基盤の確立」を掲げ、九州ろうきんがめざす姿の実現に向けて、7つの重点施策（「会員との連携強化」「地域社会への貢献」「人生100年時代に対応した生涯取引の実現」「適正な収益水準の確保」「将来を見据えたDXの推進」「誇りを持って働くことができる組織風土の確立」「新型コロナウイルスによる社会環境の変化に即した対応」）を柱に事業を展開してまいりました。

2023年5月8日をもって新型コロナウイルスの感染症分類が季節性インフルエンザと同等の「5類」へ移行されたことにより、社会・経済活動の正常化に向けた動きが進展してきました。また、政府による「資産所得倍増プラン」の策定により、個人資産を貯蓄から投資へシフトさせる動きが加速することが予想されます。生活応援運動を展開してきた労働金庫としては、貯蓄に加え、長期・積立・分散など安定的な資産形成に向けた金融教育と勤労者一人ひとりのライフプランに沿った最適な提案など、しっかりと役割を果たしていかなばなりません。一方、不安定な社会情勢が続く中、勤労者それぞれの生活課題（悩み・困りごと）は、より多様化し複雑かつ深刻になっています。この社会に生きる仲間の課題を解決していくという「共助」の精神を堅持し、協同組織としての役割を引き続き果たしてまいります。

九州ろうきんは、10年後も20年後も働く人と地域社会に寄り添い、その存在価値を高めつつ継続していくために、更なる工夫と努力を続ける所存です。

ここに、九州労働金庫ディスクロージャー誌「ROKIN DISCLOSURE 2023」を作成いたしました。ご高覧いただき、当金庫へのご理解を深めていただければ幸いです。

CONTENTS

経営理念

ろうきんの理念と基本姿勢	02
お客さま本位の業務運営に関する取組方針	03
ろうきんSDGs行動指針	06
利益相反管理方針の概要	07
金融商品に関する勧誘方針	08
特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針	08
プライバシーポリシー（個人情報保護方針）	09
金融犯罪被害防止に向けた取り組み	10

事業の方針

中期経営計画・事業計画	12
コンプライアンスの体制	18
苦情・紛争に関する業務運営体制と内部規則の概要	21
リスク管理の体制	23

事業の状況

事業の概況	25
九州ろうきんの健全性・安全性	29
社会的責任と貢献活動	30
トピックス	37
事業の組織	38
歩み	39

営業のご案内

預金商品のご案内	40
各種業務のご案内	41
融資商品のご案内	42
各種サービスのご案内	44
取扱手数料のご案内	46
店舗のご案内	48
[店舗外] 自動機（CD・ATM）のご案内	53

資料編

単体情報	56
連結情報	80
九州ろうきんの概況	94
全国ろうきんの概況	95
索引	96

金額・比率の表示方法

1. 金額単位

- ①各表に表示した金額は、特段の表示がない限り、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
- ②小計・合計等の合算値は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。

2. 諸利回り・諸比率

小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。なお、算出にあたっては、千円単位もしくは円単位の計数を使用しています。

3. マイナスの表示

数値がマイナスの場合は数値の前に「△」を表示しています。

(注) 金額・比率とも該当数値がない場合は「-」、該当数値があっても表示単位に満たない場合は「0」で表示しています。

※本誌は、労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条（業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等）の規定に基づいて作成した資料です。
資料の数値で、特に「現在日」の表記がない場合は、2023年3月31日現在のものです。